ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.1	調査位置				北　緯	36 ° 42 ' 02.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2010-01-05 ～ 2010-01-12	東　経	139 ° 43 ' 02.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	333.61 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	12.35 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	332.91	0.70	0.70		黒ボク (Kb)	黒褐			粘性やや小さい，含水少ない 植物根を多く混入		
1	332.41	0.50	1.20		軽石 (Pm)	褐			粒径2～5mm程度の七本桜軽石 炭化物を混入。硬い		
2	331.16	1.25	2.45		軽石 (Pm)	赤褐		非常に軟らかい	粒径2～10mm程度の今市軽石 含水多い 風化粘土化しており軟らかい		
3	329.51	1.65	4.10		ローム (Lm)	褐		非常に軟らかい	GL-3.0m付近まで，含水多く軟らかい 軽石粒を混入 GL-3.0m以深，スコリアを混入 やや固結している		
	329.11	0.40	4.50		軽石 (Pm)	灰黄褐		軟らかい	粒径2～5mm程度の鹿沼軽石 風化粘土化し軟らかい		01/06 4.20
5	328.26	0.85	5.35		ローム (Lm)	褐		軟らかい	粘性中位，含水中位 GL-5.2m以深，小礫を点在		01/07 5.45
6	325.81	2.45	7.80		玉石混じり砂礫 (GS-B)	灰褐～褐灰	中ぐらい	軟らかい	φ5～50mm程度の円～亜円礫主体 礫間は粗砂，粘土にて充填 GL-7.0～8.0mの間，孔壁の崩壊が著しく，掘削泥水は完全逸水 コア長50～100mm(推定礫径150～300mm)程度の玉石混入		
8	325.01	0.80	8.60		巨石	暗灰			安山岩質で硬質，MCで掘削 推定礫径はφ240cm(コア長の3倍)程度		
9	323.96	1.05	9.65		巨石	暗灰			安山岩質で硬質，MCで掘削 推定礫径はφ315cm(コア長の3倍)程度		
10	321.26	2.70	12.35		礫混り粗砂 (CS-G)	暗褐～赤褐灰	密な		粒径不均一な火山灰質粗砂主体 多量の粘土，φ5～10mm程度の火山礫混入 全体的にやや固結した状態であるが，GL-11～12m付近はややゆるい GL-12.0m付近より，赤褐灰色を呈しスコリアを混入		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1/23		2/33	2
1.48					
2.15	1/40			1/40	1
2.55					
3.15	2/15	1/7	2/8	5/30	5
3.45					
4.15	1/20	2/14		3/34	3
4.49					
5.15	1/17	1/3	4	6/30	6
5.45					
6.30	29	21/2		50/12	>50
6.42					
7.15	27	23/9		50/19	>50
7.34					
8.00	50/0			50/0	>50
8.00					
9.00	50/0			50/0	>50
9.00					
10.00	21	29/8		50/18	>50
10.18					
11.30	7	14	14	35/30	35
11.60					
12.15	26	24		50/20	>50
12.35					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
7.50	現場透水試験 k=8.77E-04m/sec
7.80	
10.70	孔内水平載荷試験 E=123.64MN/m2
10.70	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
4.50	1-1		物理；一軸；圧密	
5.35				
6.30	1-2	⊖	物理	
6.42				
7.15	1-3	⊖	物理	01/06
7.34				
				01/07
10.00	1-4	⊖	物理	01/08
10.18				
11.30	1-5	⊖	物理	
11.60				
				01/09